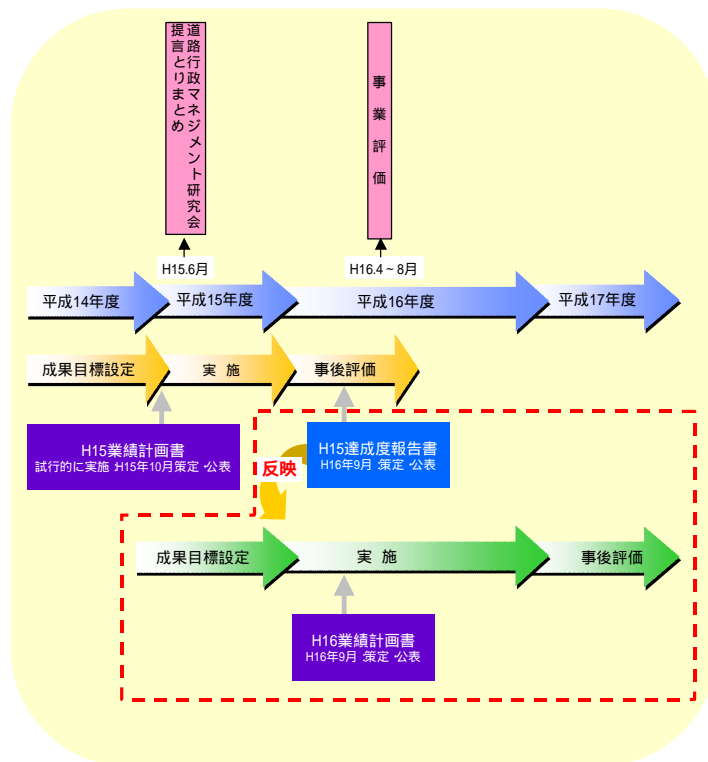


平成16年度業績計画書について

1. 策定の経緯

平成14年度より「行政機関の行う政策の評価に関する法律」が施行され、成果志向の行政への転換が推進。
 道路行政においては、平成15年度より毎年度、事前に定量的な成果目標を定め、事後に達成度の評価を行い、評価結果を以降の行政運営に反映させる「マネジメント・サイクル」を構築する。



2. 平成15年度との相違点

- 平成15年度達成度報告書を掲載し評価を実施
- 平成16年度目標のみならず、中期(平成19年度)、長期(平成34年度)の目標値を設定
- 政策テーマに8の字交流軸形成率を追加し4指標で策定
 (渋滞損失時間、死傷事故率、通行規制区間率、8の字交流軸形成率)
- 直轄だけでなく高知県データ、目標値を取り込んだ業績計画書

3. 各政策テーマと目標値

指標	分類	H15実績	H16目標	H19目標	設定根拠
渋滞損失時間 (百万人時間/年)	高知県	30.29	29.19	28.53	四国全体目標と同じ
	直轄	16.16	15.05	14.58	水準で目標設定
死傷事故率 (件/億台キロ)	高知県	77.9	75.4	73.4	県は現状維持
	直轄	83.1	82.1	77.5	四国レベル
8の字形成率 (%)	高知県	33.7	34.8	36.5	積み上げ
通行規制区間 (%)	高知県	24.2	24.04	22.9	積み上げ
	直轄	16.0	16.0	16.0	